

教育委員会会議録

(定例会)

平成29年8月24日開催

さいたま市教育委員会

- | | | | | |
|---|---|---|--------------------|---------|
| 1 | 期 | 日 | 平成29年8月24日(木) | |
| 2 | 場 | 所 | 教育委員会室 | |
| 3 | 開 | 会 | 午前9時00分 | |
| 4 | 出 | 席 | 教 育 長 | 細 田 眞由美 |
| | | | 教育長職務代理者 | 大 谷 幸 男 |
| | | 委 | 員 | 平 澤 奈 古 |
| | | 委 | 員 | 石 田 有 世 |
| | | 委 | 員 | 野 上 武 利 |
| | | 委 | 員 | 武 田 ちあき |
| 5 | 議 | 場 | に出席した者 | |
| | | | 副教育長 | 久保田 章 |
| | | | 管理部長 | 矢 部 武 |
| | | | 学校教育部長 | 平 沼 智 |
| | | | 生涯学習部長 | 竹 居 秀 子 |
| | | | 中央図書館長 | 利根川 雅 樹 |
| | | | 管理部参事兼教育総務課長 | 西 林 正 文 |
| | | | 学校教育部参事兼教職員人事課長 | 渡 邊 祐 子 |
| | | | 学校教育部参事兼指導1課長 | 岡 村 洋 彦 |
| | | | 学校教育部参事兼高校教育課長 | 大 竹 実 |
| | | | 学校教育部参事兼教育研究所長 | 千 葉 裕 |
| | | | 学校教育部参事兼館岩少年自然の家所長 | 高 後 仁 |
| | | | 教育財務課長 | 栗 原 章 浩 |
| | | | 学校施設課長 | 中 村 和 哉 |
| | | | 学事課長 | 小 椋 和 彦 |
| | | | 管理課長 | 酒 井 雅 之 |
| | | | さいたま市立浦和高等学校長 | 平 川 充 保 |
| | | | さいたま市立浦和南高等学校長 | 加 藤 浩 |
| | | | さいたま市立大宮北高等学校長 | 吉 岡 靖 久 |
| | | | さいたま市立大宮西高等学校長 | 関 田 晃 |
| 6 | 会 | 議 | 録署名委員 | 武 田 ちあき |

7 議事等の概要

- 細田教育長 それでは、ただいまから教育委員会会議を開会いたします。
本日は、傍聴を希望する方は、いらっしゃいますか。
- 書記 1名いらっしゃいます。
- 細田教育長 本日は、会議の傍聴を希望する方がいらっしゃいますが、許可して
よろしいでしょうか。
- 各委員 <異議なし>
- 細田教育長 それでは、傍聴を許可します。
本日の会議録の署名委員は、武田委員にお願いいたします。
本日の議案のうち、報告第7号、議案第99号から議案第107号
までは議会に係る案件、議案第108号は人事に係る案件、議案第1
09号は個人情報に係る案件、報告第9号は国から公表時期に関して
要請があり、市情報公開条例第7条第6号に規定する不開示情報に該
当する案件であることから非公開とすることをお諮りしたいと思い
ますが、委員の皆さんいかがでしょうか。
- 各委員 <異議なし>
- 細田教育長 それでは、出席委員全員の賛成をいただきましたので、ただ今申し
上げました議案は非公開といたします。
本日の会議の順番ですが、公開であります報告第8号、議案第11
0号、111号、非公開であります報告第7号、報告第9号、議案第
99号から109号の順に審議を行うことといたします。
- 報告第8号 平成30年度の教育課程について
- 細田教育長 それでは、報告第8号につきまして事務局から説明をお願いします。
す。
- 指導1課長 それでは「平成30年度の教育課程の編成について」説明いたしま
す。
資料の上の表の平成30年度のさいたま市立小学校の標準授業時
数を御覧ください。
国では、学習指導要領の改訂により、新しい教育課程が示されたと
ころです。平成32年度からは、総授業時数1,015時間で実施す

ることが示され、平成30年度、31年度は移行期間となります。

本市は、平成28年度よりすべての市立小・中学校で計画的に実施されてきたグローバル・スタディについて、小学校では平成30年度から授業時数を、1年生で34時間、2年生で35時間、3、4年生で70時間、5、6年生で105時間となります。このことにより総授業時数は、1年生で884時間、2年生で945時間、3年生で980時間、4年生から6年生までは1,015時間となります。表に示されている括弧内の数字は、平成29年度よりも増えた授業時数を示しております。

下の段の表の平成30年度のさいたま市立中学校の標準授業時数を御覧ください。中学校では、平成29年度との変更はございません。以上でございます。

石田委員 授業時間数を増やすということは、夏休みなどを減らすということとなりますか。

指導1課長 1年間の授業日数はこれまでと変えずに、授業時数を増やす予定でございます。

石田委員 土曜日の授業を増やすという可能性はありますか。

指導1課長 土曜日を授業日とするかは学校の裁量に委ねられている部分もございまして、校長を中心に検討することとなるものと思われま

学校教育部長 授業の時間の捉え方は大きく2つございまして、1つが授業日数、もう一つが国が示している授業時数でございます。日数につきましては、さいたま市立の学校は学校管理規則において205日とすることが定められており、これについては変更ございません。したがって、夏休みなどの学校休業日はこれまでと変更ございません。ただ、授業時数は増えることとなるため、1日の時間割を1コマ増やす場合もあるでしょうし、あるいは国も示している方法として15分の学習を週に3回行うことで1コマとカウントする場合もあるものと思われま

石田委員 授業時数は、学校の裁量により設定することができるということでしょうか。

学校教育部長 授業日数は全市で205日と共通ですが、1週間の授業時間数の割振りなどは校長の裁量が認められているところでござい

大谷委員

授業の量や質が、子どもたちの学力を支えていくものと考えております。他市町村では、授業日数が何日となっているのか、近隣自治体など分かる範囲内でお答えください。また、土曜日を授業日とすることについては、教育委員会としてどのように各校の状況を管理、把握していますか。最後に、国が学習指導要領で示す標準授業時数とさいたま市とを比べてどのような状況なのか教えてください。

指導1課長

まず1点目の他市町村の授業日数については、現在、手元に資料がないことから後ほどお伝えさせていただきます。

学校教育部長

指導1課長が申しあげたように、細かなデータは現在、持ち合わせてございませんが、205日というのは十分多い日数であるものと認識しております。当時この授業日数を設定した際のことではございますが、京都市がすでに205日以上と設定しておりましたが、それ以外の政令指定都市は205日に満たなかったと記憶しております。

また、3点目の授業時数についてですが、平成30年度の授業時数は国が示す時数よりも多く設定しており、県内の他の市町村の多くは、国の示す授業時数が基準になっているものと思われまます。なお、国よりも多く授業時数を設定している主な授業内容は、小学校でのグローバル・スタディでございますが、国では小学校1、2年生でのグローバル・スタディの時間は無く、3、4、5、6年生についてもさいたま市ほどの授業時数は示されておられません。

指導1課長

土曜日を授業日とする場合の管理等の方法についてですが、年度当初に学校より届け出を提出いただき、内容や年間指導計画への位置付けを確認しております。

学校教育部長

夏季休業日や冬季休業日、土日、祝日などの学校休業日を除くと年度によっては授業日が205日に満たない場合がございます。その場合には、不足する分を土曜日に授業をすることとしております。土曜日を授業日とする日数は学校間で差がございますが、実際に設定する日には学校で決定いたします。その計画が4月30日までに教育委員会に提出されますので、授業日数が足りているか確認させていただいております。

細田教育長

委員の皆様、ほかに御質問等はありませんでしょうか。それでは、この件は終了といたします。

議案第110号 平成30年度当初さいたま市立学校教職員人事異動の方針について

細田教育長 続きます。議案第110号につきまして、事務局から説明をお願いします。

教職員人事課長 議案第110号「平成30年度当初さいたま市立学校教職員人事異動の方針について」の議案書を御覧ください。

人事異動方針につきましては、これまでも委員の皆様から御意見をいただきながら本市の現状を踏まえ、変更や整理をしております。今年度につきましても、「教育委員会が全市的な視野等から異動させること」を念頭に置き、人事異動方針の文言を一部整理し、適切に実施してまいりたいと考えております。

それでは御説明いたします。

まず、リード文でございますが、昨年度までは、「さいたま市教育ビジョン」の具現化を目指し、「いじめ、不登校等の喫緊の課題に積極的に対応するため」となっておりましたが、今年度見直しをし、本市では学力向上等にも積極的に取り組んでいることを鑑み、「児童生徒が生き生きと学校生活を送り、学校教育に対する市民の期待に応えるため」と文言を変更いたしました。

続いて、具体的方針が5項目について御説明いたします。

1項目目です。人事の一番の基本である「各学校の気風の刷新」と「組織の充実と活性化」をあげ、各学校の課題解決や校長の経営理念の実現に向け、教育委員会の権限で「適材を適時に適所に配置する」という方針でございます。

2項目目です。教職員組織に学校間格差が生じないように、全市的な視野で各学校の課題に応じた人事異動を行い、教育の機会均等を図るという方針でございます。

3項目目です。「各学校の教職員構成」について、例えば、一度に多数の教員が異動して、その学校の教育活動の継続性が保たれない、よき伝統が継承されない、などということがないよう、長期的な展望をもち、計画的に異動を行うという方針でございます。

4項目目です。校種間の人事交流について小・中・高等学校の12年間を見通した教育の系統性や、小・中・高等学校における特別支援教育の専門性の充実を図るため、これまでも行っておりました校種間の人事交流をより積極的に推進していきたいという方針でございます。

5項目目は、「埼玉県との人事交流」に関する方針です。本年度から、埼玉県より権限が移譲されましたが、人事異動につきましては、

これまでと同様に、埼玉県教育委員会との協議の上、行うことといたします。

説明は以上でございます。御審議よろしくお願いいたします。

野上委員

いじめや不登校、中1ギャップなどの課題に対応するためにも、校種間人事交流をもっと積極的に行うべきだと思いますが、どのようにお考えでしょうか。

教職員人事課長

貴重な御意見ありがとうございます。この度の方針にも掲げましたとおり、積極的に校種間の人事交流を推進してまいりたいと考えております。なお、本市においては、校種間異動ではございませんが、小・中学校の教員が他校種の学校に行って授業を行うための兼務発令を行っており、これについても充実させてまいりたいと考えております。

武田委員

小学校の教員が中学校で授業を行う場合には、両方の教員免許が必要だと思いますが、そのような教員がいらっしゃると聞いています。校種間の人事異動を行うにあたっては、採用の段階で複数の免許があることが必要だと思いますが、採用時には優遇的な措置があるのでしょうか。

教職員人事課長

採用時に特別な優遇を行うことはございませんが、複数の免許を保有されている方は、多くの勉強をされてきた方であるというふうに捉え、そのような視点で選考させていただいております。

野上委員

法的に問題が無い範囲内で、教員免許の無い外部講師を活用するなど工夫して今までになかった課題に対応することも必要だと思いますがいかがでしょうか。

教職員人事課長

特別講師という形で免許を保有していない方に講演をいただく場合がございます。また、例えば中学校の国語の免許を保有している教員が、小学校で国語を教えることや教科以外の特別活動を教えることなどは可能でございますので、そのような活用についても研究してまいりたいと思います。

細田教育長

補足しますと、臨時免許や特別免許の活用なども出来ますし、複数校種の免許を持っている教員も多くいるのが現状でございます。また、国においても校種間の連携に関する特別委員会が立ち上げられ、非常にトレンドな話題でございますので、そういった状況も鑑み対応

していく必要があると思います。

大谷委員

学校訪問をした際に感じたことではございますが、特定の学年に臨時的任用や新規採用の教員が集中している場合があります。今後のお願いとなりますが、今年度より県から税源移譲、権限移譲を受けたところでもございますので、教員の人事配置を行う際には、本当に、この配置で教育活動が円滑に行うことが可能なのか一層の精査をしていただき、また、臨時的任用教職員の配置については特定の学校に偏りが出ないような、先を見通した人事配置をお願いしたいと思えます。

野上委員

産業界での話ではございますが、支店の規模ではなく、経営の難易度に応じて適切な人員を配置する考え方がございます。

私自身が学校訪問した際、校長の心持ちに懸念を感じてしまう学校もございました。学校に人事配置する際にも、学校の規模ではなく、難易度に応じて配置するといった考え方も必要ではないかと感じます。

細田教育長

それでは、原案のとおりとしてよろしいでしょうか。

各委員

<異議なし>

細田教育長

出席委員全員の賛成により、議案第110号は原案のとおり可決されました。

ここで事務局の入替えを行います。準備ができ次第、再開いたします。

議案第111号 平成30年度使用さいたま市立各高等学校教科書の採択について

細田教育長

それでは、再開します。続きまして、議案第111号につきまして、事務局から説明をお願いします。

高校教育課長

それでは、議案第111号「平成30年度使用さいたま市立各高等学校教科書の採択について」御説明いたします。

まず、提案理由でございます。市立各高等学校におきましては5月から7月までの期間、校長を委員長とする教科書選定委員会において、学校の特色や生徒の実態に即しながら、綿密な調査研究を実施し、平成30年度に使用を希望する教科書を選定しました。

高等学校で使用する教科書につきましては、高等学校用教科書目録

に登載されているものの中から採択することとなっております。また、小学校用及び中学校用の教科書の採択の流れとは異なり、採択地区及び採択期間の定めがありません。採択権者である教育委員会が、年度ごと、高等学校ごとに教科書を採択することとなっております。

次に、お手元の資料について御説明いたします。

まず資料1「教科書採択のための資料」を御覧ください。採択していただくための調査資料を、浦和高校、浦和南高校、大宮北高校、大宮西高校の順に綴じてございます。学校ごとに、始めに選定方針を示しました。続いて教科書一覧表、次にそれぞれの教科書の選定理由書、最後に教科書選定概要報告書を示してございます。

高等学校におきましては、現行の学習指導要領が実施されてから今年度で5年目となります。平成30年度につきましては、教科書を継続して使用する場合、最長の年数は6年となります。また、学習指導要領を先行実施していました数学、理科に関しましては、継続の最長年数は7年でございます。なお、前年度と同じ教科書を継続して使用する場合は、選定理由書にその継続年数を示してございます。

続きまして、資料2の「教科書採択に係る根拠法令・仕組み・スケジュール等」についてでございます。教科書採択に係る根拠法令、さいたま市の教科書採択の仕組み、高校の教科書採択スケジュール、教育委員会からの通知等をまとめました。

この後、4校の校長から説明をさせていただきます。説明の順番については、浦和高校、浦和南高校、大宮北高校、大宮西高校の順でよろしいでしょうか。

細田教育長

はい、それで結構です。各学校から説明を受けた上で、各委員より御意見、御質問を伺いまして審議を進めていきたいと思っております。

各校長は教科書選定委員会の長として、各校の特色を踏まえてどのように教科書を選定したのか説明をお願いします。

それでは、浦和高等学校長から説明をお願いします。

浦和高等学校長

それでは、本校の教科書採択について説明いたします。

教科書選定方針にございますとおり、本校は、生徒一人ひとりの能力や個性の伸長を図り、高い進学希望を叶える教育課程を編成し、授業を展開しております。このことを踏まえ、本校生徒の学習にふさわしい教科書という観点で選定を進めております。

新規教科書は17冊、継続で30冊の教科書を選定いたしました。選定の経過にございますとおり、教科書選定委員会を開催いたしました選定しております。

学校教育目標や目指す学校像を踏まえまして、教科書選定方針を作成し、職員会議で全職員に周知し、各教科からの選定案に基づいて選定理由を確認して、校長の責任の下、選定案の採決を行いました。

本校は、本年度学校の教育活動の実情等を踏まえまして、学校教育目標の見直しを行い、国際社会に貢献する高い志を持った人材を育成することを目標に掲げました。また、高大接続改革に基づく新たな大学入試にも対応するため、ICTの活用やアクティブ・ラーニング等の授業改善にも積極的に取り組んでおります。

選定した教科書について具体的に御説明いたしますと、こうした実情を踏まえまして、例えば、コミュニケーション英語Ⅰ、Ⅱでは、桐原書店の「PRO-VISION English CommunicationⅠ、Ⅱ」を選定しております。この教科書は、英語の理解、内容の要約、さらには発表へと活動が進められる構成となっておりまして、いわゆる4技能を効果的に養うことができ、アクティブ・ラーニング等に十分対応できる教科書となっております。また、多くの生徒が難関大学への進学を目指す本校の実情を踏まえまして、英文の難易度、長さも考慮し、語彙力や文法力等を養う上でも適した構成と考えて選定しております。さらに、例えば、IPS細胞の山中教授を取り上げるなど、教材の内容も生徒の興味・関心を引くものとなっておりまして、学びのモチベーションを高めることもできると考えてこの教科書を選定いたしました。

また、高いレベルでの教育活動の展開を目指す学校像に位置付けておりまして、例えば、数学では東京書籍の「数学Ⅰ Advance」、「数学Ⅱ Advance」を選定しました。いずれの教科書も、基本的な問題から発展的な問題までバランス良く配置され、例題の問いの難易度も大学進学を目指す本校生徒の学習を進めるのにふさわしいものと判断いたしました。さらに、巻末にアクティブ・ラーニングをしよう、思考力を高めよう、演習問題といった章が設けられておりまして、生徒の興味・関心を高め、学習ニーズに対応するものと考えました。

他の教科書におきましても、審議を重ね、校長決裁により、議案書のとおり提出させていただいたところです。採択について、御審議をお願いいたします。

細田教育長

それでは、次に浦和南高等学校長から説明をお願いします。

浦和南高等学校
長

それでは、本校の教科書採択について説明させていただきます。

選定方針3にありますように、確かな学力の定着や大学進学に向けた実力をつけるため、記述や資料等が生徒にとって理解しやすいものであること、また導入や題材、論の工夫等がなされ効果的な内容とな

っていることを重視して、改訂版を含めて新規を15冊、継続で30冊の教科書を選定いたしました。

選定に際しては、教科書選定委員会を開催し、選定方針を伝え、各教科からの原案に基づき、選定理由の確認を行い、校長の責任の下、選定案を決裁いたしました。

本校の生徒は、教科書などへの取り組み姿勢が真面目で素直です。それゆえ、教科書の内容や記述の様式、図やイラスト、写真などの工夫が、生徒の理解度に大きく影響いたします。また、ほとんどの生徒が大学進学を目標にしておりますので、進学にも応えられるということを前提に教科書を選定いたしました。

具体的に、改訂版の物理とコミュニケーション英語Ⅰを例にとって御説明させていただきます。物理は昨年度と同じ出版社ですが、改訂版が出ました。そこで、旧版とのかかわりを考えましたが、旧版が廃止となるということで第一学習社の「高等学校 改訂 物理」というものを選定いたしました。本校は理系を選ぶ子どもたちが多いですが、得意であるということを経験に選ぶわけでもないので、やはり、教科書の難易度が子どもたちに合っているかどうかということが重要なところになります。この教科書は、2年次の物理基礎と同じ出版社であるために、物理基礎の学習内容とその次のステップである物理の学習内容の関連が明確になっております。また、それがどういう風になっていくかというのも、必要などころでしっかりと明示されておりますので、移行がスムーズになっております。また、各章の最初に実際の現象の例題などがあり、本文と関連しておりますので、興味・関心が湧くようになっております。また、35ページにあります。大学入試によく出る形式をしっかりと踏まえており、例えば162ページにあるように、ドップラー効果のところでの説明等では、まず、図があり概要が説明され、次に式が示され、そして式の導き、そして例題、類題とより詳しく展開されております。そういうところが、分かりやすい流れ等になっておりますので、本校の生徒にとっても理解しやすいものになっているのではないかと思います。選定させていただきました。

次にコミュニケーション英語Ⅰですが、桐原書店の「PRO-VISION English Communication I」を選定させていただきました。昨年度までの教科書と変わりましたが、昨年度までの教科書と比べて、流れが理解しやすくなっております。最初に質問形式で本文を理解し、次に要約のポイントが思考の流れに沿って図式化されております。その後、様々な場面で話される英語を聞きながら自分の考えを述べたり、書いたりする構成となっていて、4技能を身に付けるという意味では、効果的なものになっています。また、構造が図式化されて、視覚的に分かりやすいような工夫がされておりますので、本校生徒にとっ

てはとても理解しやすいものでございます。先ほどの浦和高校の説明でもありましたが、題材がIPS細胞であったり、お弁当についてであったり、マララさんの女子教育であったりと大変興味を持てるものであります。特に、題材のお弁当のところですが、本校は修学旅行でオーストラリアに全員が行っておりますので、食文化などの点においても事前の学習でここをよく読みまして、実際に行ってみて経験をして、比較文化というのでしょうか、そういうところでも役立っております、教科書と学校活動との連動という意味からも効果的な教科書ではないかと判断いたしております。

他の教科書につきましても、審議を重ね、校長決裁により、議案書のとおり提出させていただいたところです。採択について、御審議をよろしくお願いいたします。

細田教育長

それでは、次に大宮北高等学校長から説明をお願いします。

大宮北高等学校
長

本校の教科書採択について御説明させていただきます。

選定方針でございますように、本校では、個々の能力を伸長し、確かな学力の定着が図れるとともに、生徒の興味・関心に即したもので、大学進学に対応できる効果的な教科書であることを重視し、新規教科書を25冊、継続で20冊の教科書を選定いたしました。

教科書選定委員会におきまして、選定方針を私の方から伝えまして、各教科から原案を提出させ、それに基づいて、選定委員の確認を行い、教科書選定委員会の審議を経て、最終的には私の責任の下、選定案の決裁をいたしました。

本校は、普通科、理数科の併置、また、スーパーサイエンスハイスクールの指定という特徴がございます。そのために、特に理科では自ら課題を見つけ、解決の方法を考え、実際にそれを実践する中で、新たに課題を見いだしつつ、自分なりの解答を得るという探究する力の育成をしたいと考えております。

そこで、例えば化学でございますが、新たに数研出版社の化学を採用いたしました。この中で特徴的なのは、93ページでございますように、探究活動の進め方についての詳細な内容が含まれております。特に、研究課題の進め方、それから情報の収集、仮説の設定の仕方、さらには、実験計画の立案や実験観察の手順、方法、また、結果の分析という流れ、そして、報告書の作成から研究発表に至るまで、詳細な記述がなされております。このような教科書を採択することで、先ほど申し上げた探究する力の育成ということ、本校の特長として伸ばしていきたいというように考えております。

他の教科につきましても、審議を重ねつつ、校長決裁によりまして、

原案のとおり提出させていただきました。採決に向けまして、審議をお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

細田教育長

それでは、次に大宮西高等学校長から説明をお願いします。

大宮西高等学校
長

まず、本校の教科書選定の経緯について御説明申し上げます。

選定方針でございますように、確かな学力の定着のために導入や題材、記述の工夫がなされていること、また、言うまでもなく生徒の興味・関心や考察力等の実態に十分対応したものであることを重視し、教科書選定委員会を開催し、選定委員会で選定方針を伝え、各教科からの原案に基づき、選定理由の確認を行った後、校長の責任の下、選定案の決裁をいたしました。

少し、その経緯について具体的に申し上げます。御案内のとおり、私は大宮西高校に着任して3年目を迎えさせていただいておりますが、過去2年間と同じように選定事務の進め方といたしまして、各教科の選定委員に指示をして、選定理由が特徴的に表れている教科書のページに付箋を貼らせました。例えば、現代文ですけれども、現代文では4つの選定理由を挙げた中で、その1番目、最近の入試傾向にあった評論文で、論理的読解力を高めることができるというのは、具体的にどこを言っているのかということをも1、2、3、4それぞれ校長が分かりやすいようにさせております。その上で、今年度は原案を審議する選定委員会開催10日前までに全ての教科、全ての教科書でこのような準備をさせ、各教科書の選定理由と付箋を貼った教科書を提出させて、個別に説明させました。その後、校長が10日間ほど時間をかけまして、それが一般的な目で見ても妥当性があるのかということを確認させていただいたのち、初めて事務担当者である教務主任に資料としてまとめさせ、選定委員会において審議をし、最終的に校長が決裁をしたところでございます。

さて、現在、本校はやや特殊な状況に置かれておりますので、そのことについて御説明を申し上げたいと思います。御案内のとおり、本校は現時点で在籍をしております生徒が、大宮西高校としての最後の3学年の生徒になります。来春は新入生を迎え入れることはございません。したがって、今回の教科書採択でも新1年生の教科書は対象になっておりません。そのため、他の3校に比べて明らかに少ない冊数の教科書の採択となります。具体的に申し上げますと、今回、平成30年度使用教科書として採択していただきたく選定いたしましたのは、改訂版9冊を含む新規14冊、継続14冊、計28冊でございます。ちなみに、来年この時期に平成31年度使用教科書を採択いただくこととなろうと存じますが、その場合には、多くても16冊止まり

となります。多くてもと申し上げましたのは、選択科目によって講座選択希望者が少なければ、非開講となる可能性がございますので、そうなった場合には16冊が、15、14、13まで減るかもしれません。いずれにしましても、本校は現状そのような生徒の状況がございます。同時に、学年減に伴いまして、本校の教員は少なくとも、今年度末に15人の減員が見込まれております。担当が1人しかいない情報の教科はそのまま残りますが、人が変わるかもしれません。他の全ての教科では減員となり、その多くは1教科2名から3名ずつの減員となります。再来年度、最終学年のみが残るに当たっては、さらに15人以上の減員が想定され、その年度末、平成31年度末には、本校は閉校となりますことから、全ての教員が、残る3回の年度末に異動若しくは退職を余儀なくされております。そんな中、今年度当初に本校に10人の教員が着任をいたしました。そのうち3名は中学籍の教員で、高校で教えるのは初めてでございます。残る7人は全て1年契約の臨時的任用教員でございます。つまり、新規の高校の正規教員は1人も配属をされておられません。今後、この傾向はさらに進んでいくものと覚悟してございます。つまり、今後15人ずつ減員されるものが、必ずしも臨時的任用、再任用の減員にとどまることなく、正規教員を含めてすべての者が異動対象になっている状況でございます。

このような状況にあって、本校で教科書を選定するのは、大いに苦慮いたしました。具体的にどのようなことか申し上げますと、来年すべての教科においてどの教員が残るのかはもちろん未定です。場合によっては、この教科はこの先生が支えているという教員が当然ながら異動になっていくことも予想されます。そして、その一方で、今年もそうであったように、大学新卒で何の経験も積んでいない臨任が配置される可能性もございます。また、新たに初めて高校で教壇に立つ中学籍の教員が更に配置されることもあるかもしれません。一方で、今回、新規に採択いただく教科書は、長くても2年間の使用となります。来年度採択いただく教科書は1年限りということになります。今年度のなかでも、ここで採択いただいたものは1年限りというものも多くございます。それでも、そういった経験の非常に浅い教員が配置されることも見込みますと、当然と言っては失礼ですが、指導書もやはり備えなければならないだろう、そういった事情も考えてございます。本校の教員の状況ということで申しあげましたが、正直、多くの教員が不安を募らせております。これは、非常にネガティブな説明になって恐縮ですけれども、本校が現状そういう状況にあるということをは是非委員の皆様には理解をいただきたいと思って申しました。

そういう現実直面して、それでも来年度在籍見込みである489名の子どもたち全員によりよい進路実現と、そのための日々の授業の

充実に向けて、教職員一同、特に長年勤めている正規教員、なかには後のことは考えず、最後まで自分は西校で頑張りますと言ってくれる熱い思いの教員も少なからずおります。そういう教職員一同、チーム西高として、ベストな教科書の選定をさせていただいたつもりでございます。しかしながら、当然のことながら、私どもが気づかぬ点も少なからずございますことは承知しておりますので、是非、この場で委員の皆様方には、忌憚のない御意見、御質問を賜りながら、採択に向けた慎重な御審議をお願いしたいと存じます。是非よろしく願います。

細田教育長

それでは審議に入ります。各委員の御意見を伺います。

武田委員

理科の教科書について、意見と質問をさせていただきます。

ここ何年か理科の教科書を拝見して充実してきたと感じますが、キーワードが英語で表記されている点でございます。理科の基本概念を構成する重要語句を日本語だけでなく英語でも把握することは、大学の理工系教育の基礎知識を培うことになるだけでなく、高大接続の観点からも大変望ましいことでございます。実際大学で勤務する中で最も英語教育に力を入れているのが工学部であると感じますし、学生に対する英語能力の要求水準も上がってきています。

そういった状況を踏まえますと、英語表記がある理科の教科書は望ましいものと考えております。例えば、実教出版、数研出版、第一学習社の場合は、本文の中でキーワードの下ルビに英語表記されておりますし、東京書籍と啓林館の場合はキーワードが出るページの下部の脚注に英語表記がされております。

必ずしも高校生がこういった英語を覚えなければならないということではなく、目に触れる機会を提供することが大事であると思えます。教科書の中には英語表記がないものもございますので、教科書にとって必ず備えなければならないものではないかもしれませんが、グローバル人材の育成を掲げるさいたま市にとっては記載のあるものの方が良いように思えます。

特に第一学習社は、旧版では英語表記が無かったのが、改訂版では記載されております。大宮北高校の生物、生物基礎、地学基礎、それから浦和南高校の物理と物理基礎はいずれも改訂版を選定されておりますので、これは大変良いことであると感じています。

そこで、質問させていただきたいのが、大宮西高校においては教員の配置の問題があるとのお話をいただいた一方で、生徒のよりよい進路実現に向けて教科書を選定されたとのことでした。また、浦和高校では化学において改訂版と旧版が選定されており、これは、内進生と

高入生の進度の違いが理由と思いますが、最近では内進生に引っ張られる形で高入生の大学進学実績も伸びていると聞きましたので、将来的には他の教科書も含めて一本化することを考えてもよいのかと感じております。

英語表記の有無に限らず、教科書の選定に際しては、様々な理由があるものと思いますので、浦和高校の生物と化学の2冊のうちの1冊、それから大宮西高校の生物と生物基礎に関して、第一学習社の旧版を選んでいる理由についてお聞かせください。

大谷委員

ただ今の質問に関連しまして、私からも質問させていただきます。

新版は旧版と比較し新しいデータ、資料を掲載しているものと思いますが、子どもたちにとって旧版を選定するメリットにはどのようなものがあるのか具体的にお答えください。

大宮西高等学校
長

まず武田委員の御質問についてですが、前提といたしまして、多くの学校では、基礎のつく科目と基礎のつかない科目など、上下の関連性が高い科目をセットで考えており、同じ編集方針に基づいて作成された版を選定することを基本と考えております。

その上で、御意見いただきました生物で選定いたしました教科書についてお答えいたします。

本校は2年生の生物基礎において旧版を選定しておりますが、新版と旧版を比較しますと、新版はページ数が2割以上削減されております。このことについて教科書会社に確認したところ、新版は基礎部分について内容を厳選した一方で、基礎のつかない方では若干内容を増やしているとのことでした。具体的に内容を比較しますと、第2編の体内環境の部分では、旧版約80ページに対し新版約60ページとなっており、例えば、肝臓の説明量が明らかに違い、また絵もデフォルメされています。本校では3年次に基礎のつかない生物を選択する生徒は少なく、多くの生徒が生物基礎までの学習となり、標準2単位のところ3単位に増やしている状況下では、新版では内容が足りないかと判断いたしました。

次に大谷委員より御指摘ございました件についてですが、新版と旧版を比較すると掲載されているデータはほぼ同じものでありましたが、例えば旧版ではアメリカの大統領の写真がオバマ大統領であるところ、新版ではトランプ大統領となっている箇所がございます。もっとも、本文ではそのことに関する記述は一切ございません。また、政治経済の教科書においては例えばリーマンショックの詳細な記述や、グローバルガバナリーという言葉が新版では無くなっております。同じ程度の分量に収める中で、新しい記述を増やせば、当然古い内容は無

くなっていくこととなります。現時点において我が国の経済を生徒に指導していくことを考えたとき、そういった除かれた内容を考慮した結果、当初は旧版を選定することを検討しましたが、最終的には、例えばリーマンショックの内容については補足説明を行えば足りると考え新版とさせていただきます。

大谷委員

前段の説明については、子どもたちに確かな学力を身に付けさせるという観点において私は了解いたしました。後段については、教員は教科書を教えるのではなく、教科書で教えるのであるから、各教員の専門性をもって、様々な資料、副教材を活用することでカバーできることであると思いますので、やはり最新の資料、最新の写真である方が良いと感じます。

浦和高等学校長

本校の化学と生物について御説明させていただきます。本校の化学については、2年生で化学基礎を履修しますが、理系では標準単位数2単位のところ4単位で履修しており、2学期までに化学基礎を終わらせて、専門科目である化学を出来る限り早く授業に入るために教科書の早期購入をさせていただいております。そのため、御指摘の3年生の化学の旧版の教科書は、すでに生徒は昨年度、購入済みでございます。3年生でも課程上、化学が設定されていることから改めて使用教科書として提出させていただいているものでございます。なお、2年生の化学、化学基礎については新版を選定させていただいております。

細田教育長

補足でございますが、これは浦和高校のようなトップ校が陥りがちなものでございまして、教科書の進みが早いゆえに起こることでございます。

浦和高等学校長

また、生物についてですが、本校では生物基礎を1年生で履修しております。そして、高入生は2年生で生物を履修しており、つまり来年度3年生で使用する教科書として選定しているものは、すでに現2年生が購入している旧版でございます。なお、内進生は2年生では生物の履修は無く、3年生で生物を履修いたしますが、同じ旧版の生物を選定しております。これは、内進生と高入生が授業はそれぞれ別々に行いますが、そのほか補習など様々な学習活動は一緒に行いますので、新版と旧版を持っている生徒がいると、適切な授業が困難となるのが理由でございます。

武田委員

大宮西高校も浦和高校も、それぞれの学校の事情が良く分かり、ま

た子どもたちのことを第一に考え選定いただいていることが理解できました。

大谷委員

今後のことですが、教科書を選定できるような専門家がいなくなってしまうのではないかという危惧を大宮西高等学校長はお持ちかもしれません。これに対応する例といたしまして、寄居町など小規模な自治体では隣接した深谷市と共同で教科書を選定している事例がございます。今後もし、大宮西高校単独での選定が困難となった場合には、教育委員会事務局が調整しながら他校と共同し選定を行う、あるいは指導主事の支援を得ながら選定するなどいろいろな方策はあろうと思います。

続けて質問させていただきます。各高等学校において、教科書を執筆した教員がいる場合、それは大変喜ばしいことだと思いますが、一方でそのような教員がもし選定に関わっていたら大変な問題となってしまいます。

そこで確認でございますが、教員が執筆者として関わった教科書及び指導書の有無と教科書選定の関係性について、また、執筆者がいる場合にはそのサービスの取扱いについてお答えください。

高校教育課長

この件については、昨年度御指摘いただきましたことから、年度当初に教科書の執筆、協力、編集などに関わる教員について兼業届けを出すように徹底した結果、各高等学校において、教科書の執筆等に関わっている教員が多数おりましたが、一人として選定委員にはなっていないことを確認いたしております。

なお、執筆者等と選定された教科書の関係性について確認をした結果、浦和高等学校のコミュニケーション英語Ⅲにおいて、当然、当該教員は選定委員にはなっておりませんが、教員が関わった教科書が選定されていることが確認されております。

浦和高等学校長

本校では執筆等に関わった教員が4名おりました。教科書の原稿を執筆した者は1名おりました、教科は数学でございます。教科書の指導書等を執筆した者は英語及び理科でおりました。また、兼業には当たりませんが、編集協力として意見を求められたのが家庭科に1名おられます。

先ほど高校教育課長より説明のありました英語の教科書についてですが、コミュニケーション英語Ⅲにおいて文英堂の「UNICORN English Communication 3」を選定しており、教員は当該教科書の編集協力者として関わっていると確認しております。本文の執筆はしておりませんが、付属するプリントの作成及び指導書の作成の協力をし

たということでございます。この教員につきましては、先ほどありましたとおり、各教科での選定及び学校全体の選定委員会からは一切排除しております。

その上で、この教科書を選定した理由を御説明いたします。

1点目でございます。この教科書を使用するのは3年生でございますが、来年度の3年生は、1、2年生時に文英堂の「UNICORN English Communication」を使用しており、同じ編集方針のもと作成された教科書は生徒にとっても使用しやすい点がまずございます。

2点目でございますが、この教科書は扱うテーマが時代を反映した多彩な内容となっていることに加え、1つの英文の長さが900語から1000語以上のものを大変多く扱っております。本校の生徒が目指す難関大学の傾向も反映されており、是非生徒にチャレンジさせたい内容となっております。

3点目でございますが、具体的に申し上げますと、ウォームアップでのオーラルイントロダクション、導入の段階でのクエスチョン、内容理解のタスク1からタスク4までといったところから分かるように、段階を追うごとに難しい内容となっていることから、指導者が授業しやすい構成となっております。特にタスク4では、英作文から発表につなげていく発信型の活動が行える構成となっております。本校では新たな大学入試改革を見据えて、英語では発信型の授業を行っており、こうした授業にも極めて適した教科書であると言えます。

4点目でございますが、関連英文が提示されており、リスニング力、表現力の強化を図る上で極めて適しております。大学入試改革の肝となっている英語の4技能のスキルを向上させるのに適した教材という判断でございます。

あくまでも本校生徒にとって、最適な教科書は何であるかという観点で選定した結果、この教科書を選定するに至った次第でございます。

武田委員

この UNICORN の教科書について、全く別の観点から強く推薦したいと思います。さいたま市の英語の教科書をどういう観点で選定するのかということにも関わってきますが、グローバル人材育成のため4技能の育成を全国に先駆けてさいたま市は取り組んでいるものと思っておりますが、中学から高校に至り、英語を使うということから、もう一歩先を見据える必要があるとも感じております。具体的には、文学教材の取扱いについて、一般的には教科書の中で扱う量が圧倒的に少ない状況ですが、「UNICORN English Communication」の教科書においては突出して多くなっております。これは大学を含めた英語教育において文学教材の活用を推進している、英文学者で元東大教授

の高橋和久氏が編著者として関わっているという理由があるかもしれませんが、内容を見ると他の教科書でも文学教材の引用をしている箇所はありますが、この教科書ではジョイスやドリス・レスリングなど本格的な英文学作家、シェイクスピアなどの古典名作の引用、本文では村上春樹などが取り上げられているほか、さらに詩を読むことはどうということかなど、文学的なトピックをメインテーマにした単元がたくさんございまして、読むということ、言葉とはどういうものなのかについて考えさせる内容となっております。グローバル人材の育成を考えるときには、英語をツールや単なるコンテンツとしてとらえるのではなく、英語国民の歴史的な文化遺産ととらえ、英語を使う人たちの文化を尊重するといったことや、相手との相互理解を深める姿勢などの人格形成を伸ばすことが重要だと考えておりまして、その教育に適しているのが文学教材ではないかと思っております。また、こういった文学教材を活用する際には、教員の力量も大事な部分ではございますので教員自身も世界に向ける目を養っていただき、ほかの学年、高校においてもこういったことを念頭において教科書を選定していただくことで、さいたま市の英語教育はさらなる広がりをもたせたいと考えております。

細田教育長

質問の入り口は、教科書の執筆に関与した教員とその選定過程の確認でございましたが、このことについては、執筆者等は教科書選定に一切関与していないことを確認いたしました。その上で、この教科書を選定したのは、浦和高等学校における英語教育に向ける情熱、そして武田委員がおっしゃったようなそれに見合った内容の教科書であり、またそれを使いこなせる教員もいるということでございます。

グローバル・スタディを小学校1年生から実施している本市では、市立4高等学校全てにおいて武田委員の御指摘された視点で、最終的に教科書を選定できるような力を教員も子どももつけていかなければならないと改めて肝に銘じた次第でございます。

大谷委員

教科書の執筆等に関与した教員と教科書の選定過程について、問題ないことが確認できました。私自身も、教科書の執筆等に教員が関わっているから、その教科書を選定してはいけないとは考えておりません。校内で厳正、公正な手続きの中で、そういった教科書を選定した校長の強い思いが理解できました。

野上委員

メーカーは特にそうですが、今は中小企業でも大企業でも、海外へ輸出した、あるいは海外工場で作った機械のメンテナンスなどのために、緊急的に社員を派遣することが大変多くございます。そのときに、

英語の名詞を知っていると知らないとでは雲泥の差がございまして、先ほど話がございましたが、英語以外の様々な教科書においても英語が記載されているような教科書を選定していただきたいと思います。

また、あわせて質問でございますが、外国のビジネスマンは日本人との会話で、なぜ自国のことを理解していないのか疑問に思っているようで、グローバル化の現代においては、日本人が近現代史を一層理解する必要があると感じております。そこで、大宮西高等学校の日本史Bにおいて選定した教科書の選定理由として「歴史へのアプローチは歴史学の研究成果を反映させ」と記載されておりますが、これは偏向的な内容となっていないか、またその具体的な内容について御説明ください。

大宮西高等学校
長

歴史へのアプローチはコラム形式で4か所記載がございます。高校の日本史で身に付けるべき知識ではなく、大学での研究成果などの専門的な内容が記載され、歴史を通史としてではなく様々な視点で考えさせるものであり、偏向的な内容とはなっておりません。

野上委員

日本史の特に近現代史という教材は、様々な意見があることを理解した上で、自分の考えを発露するのに適しているのではないかと考え質問させていただきました。

大谷委員

子どもたちには、歴史的に正しい事実と認識をもって卒業して欲しいという思いがあります。また、大学入試の傾向においても、近現代史が中心になっています。

そこで質問いたしますが、日本史の近現代史については、最後の内容まで確実に終え、さらに問題の演習まで含めて授業出来ているのかお答えください。

浦和高等学校長

本校では、日本史Aを2年生で2単位学習しております。まず、この日本史Aにおいて近現代史を学習しております。その上で、3年生におきまして、標準単位4単位のところ6単位で日本史Bを学習しており、近現代史は通史を含めて11月頃に終え、その後、演習を実施する予定でございます。

大谷委員

他の私立学校長などの話を聞くと、夏休みまでに通史を終え、その後、演習に取り組むようですので、出来るだけ計画を前倒して進めたいと思います。

浦和高等学校長

入試においては、国語、数学、英語に時間を割かれてしまうという

実情もございますが、日本史については標準4単位のところ6単位としたり、補講を行ったりしながら出来る限り早期の修了に取り組んでいるところでございます。

細田教育長

市立4高校において、これまでは日本史の教科書は山川出版が中心でございましたが、他の教科書においても非常に学び易いつくりになっているものもございますので、今後、各校において教科書研究を進めていただければと思います。

そのような中、大宮北高等学校では世界史Bにおいて、新規で実教出版を選定しておりますので、このことについて選定理由等の説明お願いいたします。

大宮北高等学校
長

選定理由についてですが、まず、時代や地域の配列、編成が分かりやすく、記述も明確でよく整理されております。また、欄外の補足説明が詳細でございまして、発展学習や受験対策にも適していると判断いたしました。さらに、この教科書は通常のサイズより若干大きくなっておりまして、その分図表や写真が増えていることから、こういった教材を活用し、生徒が自ら考えながら授業を展開できると考え、実教出版の教科書を選定いたしました。

平澤委員

私が教育委員となってから教科書選定の方でずっと申し上げていることですが、是非、保健体育の教科書の中で障害者スポーツ若しくはパラリンピックを扱っている教科書を、選定する基準の一つにさせていただきたいという思いがございます。他の各教科書では障害者は弱者であるので保護していくという立場で扱われておりますが、障害者は自ら人格をもって活動し輝くことができるということを生徒に知ってもらうにあたっては、保健体育で障害者スポーツを扱っていただくことに大きな意味があると思っています。

各校が選定した教科書には、パラリンピックの記述は無いものの、教科書の内容は良いものであると思います。今後、2020年にパラリンピック競技大会が朝霞で実施されますので、そういった機会には是非授業の中で取り上げていただきたいと思います。

質問でございますが、高校生にとって飲酒や喫煙の害について理解することは大事な部分だと思いますが、保健体育の教科書において、各校が選定している大修館の現代高等保健体育より、各校が選んでいない最新の方がビジュアル面で大きく記載されているなど優れていると感じましたが、選定した理由についてお答えください。

浦和高等学校長

私自身は知的障害の特別支援学校長と埼玉県特別支援学校体育連

盟の会長を経験してございまして、障害者スポーツの理解、普及等の重要性については認識しているつもりでございます。近年では、様々なスポーツで障害者が活躍しておりますので、高校生の理解も進んでいるものと思います。また、本校では障害者交流の一環として、さくら草特別支援学校の生徒と交流を行うなど障害のある方への理解を深めるための取組みも行っているところでございます。パラリンピック等の記述に関しましては、保健体育の教科書では独立した項目ではございませんが、文化としてのスポーツや、オリンピックと国際理解といった項目において扱われており、また補助教材等も活用しながら授業を行っていきたくと考えているところでございます。

また委員より質問いただいた点でございますが、委員御指摘の点も確かにございますが、各項目の記述のバランスであったり、図やグラフ等の見やすさであったり、授業を行う時の教員や生徒の使いやすさであったり様々な要素から教科書を選定させていただいております。この度選定した教科書は、特に課題学習という点について充実していると考えてございまして、生徒自らが考えて健康について判断していくといった力を身に付けていく上で有効であると考え選定させていただいたところでございます。

浦和南高等学校
長

私も昨年度まで特別支援学校の校長をしておりましたので、障害を持つ方々への理解を深めることは、重要なことであると認識しております。現在、2020年に向けて様々な教材が出ており、国際パラリンピック委員会公認の「アイトポッシブル」という教材を活用しながら授業を行っていくことで補いたいと考えております。

また、教科書の選定についてですが、教科書については浦和高等学校と同様、総合的に判断しているところでございまして、この度選定した教科書は、どの項目にも生徒に考えさせる記述がございまして、全般的に生徒が主体的に考える構成となっていることから選定させていただきました。

大宮北高等学校
長

障害者の方に対する理解については、保健体育に限らず、様々な教科、教育活動をとおして進めているところでございます。

教科書を選定した理由についてですが、本校の生徒の実情を考慮し選定させていただいておりますが、特に、応用的な課題が各単元に設定されているという点や、資料が豊富に掲載されており視覚的にとらえやすいという点など総合的に検討した結果、この教科書を選定させていただいているところでございます。

野上委員

各学校の教科書選定方針でございますが、これは企業に置き換えま

すと企業理念にあたるものと思います。企業では、理念を変えるときには大変な議論が交わされるものでございます。

次回以降は、教科書選定方針について前任校長がいたときのものを参考として添付していただきたいと思います。

高校教育課長 来年度以降、ただ今の御指摘のとおりとしたいと思います。

石田委員 数学の教科書において、4年以上同じ教科書を選定しているものがあるようです。今後、内容について今一度確認をお願いいたします。

細田教育長 ほかに御質問等ございませんでしょうか。
それでは、学校ごとに、原案について採択してよろしいか各委員に伺いたいと思います。
まず、浦和高等学校の教科書について原案のとおり採択してよろしいですか。

各委員 <異議なし>

細田教育長 続いて、浦和南高等学校の教科書について原案のとおり採択してよろしいですか。

各委員 <異議なし>

細田教育長 続いて、大宮北高等学校の教科書について原案のとおり採択してよろしいですか。

各委員 <異議なし>

細田教育長 続いて、大宮西高等学校の教科書について原案のとおり採択してよろしいですか。

各委員 <異議なし>

細田教育長 それでは、出席委員全員の賛成により、議案第111号は原案のとおり可決されました。

傍聴の方に申し上げます。先ほど決まりましたとおり、ここからの審議につきましては、非公開となりますので、御退室ください。

審議時間が長時間となりましたため、ここで5分程度の休憩を取ります。

報告第7号 平成28年度さいたま市一般会計歳入歳出決算について

<非公開案件につき内容は省略>

報告第9号 平成29年度全国学力・学習状況調査結果について

<非公開案件につき内容は省略>

議案第99号 平成29年度さいたま市一般会計補正予算（教育費）について

<非公開案件につき内容は省略>

<議案は原案どおり可決>

議案第100号 さいたま市立新設美園地区小学校校舎棟建設（建築）工事請負契約について

議案第101号 さいたま市立新設美園地区小学校校舎棟建設（電気設備）工事請負契約について

議案第102号 さいたま市立新設美園地区小学校校舎棟建設（機械設備）工事請負契約について

議案第103号 さいたま市立新設美園地区小学校屋内運動場棟建設（建築）工事請負契約について

議案第104号 さいたま市立新設美園地区中学校校舎棟建設（建築）工事請負契約について

議案第105号 さいたま市立新設美園地区中学校校舎棟建設（電気設備）工事請負契約について

議案第106号 さいたま市立新設美園地区中学校校舎棟建設（機械設備）工事請負契約について

議案第107号 さいたま市立新設美園地区中学校屋内運動場棟建設（建築）工事請負契約について

<非公開案件につき内容は省略>

<議案は原案どおり可決>

議案第108号 さいたま市立小・中学校通学区域審議会委員の委嘱及び任命について

<非公開案件につき内容は省略>

<議案は原案どおり可決>

議案第109号 行政情報一部開示決定に係る審査請求について

<非公開案件につき内容は省略>

<議案は原案どおり可決>

以上をもちまして、本日の教育委員会会議の議事を終了いたします。

これにて、教育委員会会議を閉会いたします。

8 閉 会 午後0時35分